

地域再生計画（道整備交付金）事後評価調書

都道府県名	島根県	事業実施主体	島根県、安来市	地域再生計画名	地域資源の利活用・資源循環型のまちづくり				
計画期間	平成22年度～平成28年度	評価責任者	島根県松江県土整備事務所農林工務部長 大谷和彦、安来市建設部長 小林勝則						

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標	基準値 基準年度	中間目標値			最終目標値 基準年度		事後評価	最終目標値の実現状況に関する評価	
			年度	中間実績		最終実績				
【家畜排せつ物】 旧伯太町畜産農家～バ 付マスリケルセンタ～（19分→8分）	指標 1	19分	H21	-	-	8分	H29	8分	○	広域農道とバ 付マスリケルセンタへ通じる市道が完成しており、目標は達成できた。
		29分	H21	-	-	16分	H29	16分	○	広域農道とバ 付マスリケルセンタへ通じる市道が完成し、併せて農道が接続する国道・県道の改良設定区間の整備も完成しており、目標は達成できた。
		19分	H21	-	-	8分	H29	8分	○	広域農道とバ 付マスリケルセンタへ通じる市道が完成しており、目標は達成できた。
		29分	H21	-	-	16分	H29	16分	○	広域農道とバ 付マスリケルセンタへ通じる市道が完成し、併せて農道が接続する国道・県道の改良設定区間の整備も完成しており、目標は達成できた。
		24分	H21	-	-	21分	H29	23分	△	バ 付マスリケルセンタへ通じる市道は完成しているが、市道黒鳥細井線が未完成であり目標には達していない。現在社会資本整備総合交付金事業で整備を実施しており、H3 3年度完成を目指している。
【堆肥】 バ 付マスリケルセンタ～旧伯太町農地（19分→8分）	指標 2	25分	H21	-	-	21分	H29	24分	△	バ 付マスリケルセンタへ通じる市道は完成しているが、市道中島津田平線が未完成であり目標には達していない。現在社会資本整備総合交付金事業で整備を実施しており、H3 3年度完成を目指している。
		30分	H21	-	-	19分	H29	19分	○	広域農道と農道が接続する国道・県道の改良設定区間の整備が完成したことで目標は達成できた。
		22分	H21	-	-	15分	H29	15分	○	広域農道と農道が接続する国道・県道の改良設定区間の整備が完成したことで目標は達成できた。
		10分	H21	-	-	8分	H29	10分	△	市道黒鳥細井線が未完成であり効果は発現していないが、現在社会資本整備総合交付金事業で整備を実施しており、H3 3年度完成を目指している。
		22分	H21	-	-	19分	H29	22分	△	市道中島津田平線が未完成であり効果は発現していないが、現在社会資本整備総合交付金事業で整備を実施しており、H3 3年度完成を目指している。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 3	家畜糞尿の堆肥化推進	4,350t	H21	-	10,300t	H29	6,480t	△	バ 付マスリケルセンタに関して、H23年度まで順調に利用が伸びていたが、家畜の量の減少や農家の高齢化による廃棄に伴う利用減少があり目標には達していない。しかしながら、バ 付マスリケルセンタを利用していない畜産農家に対する利用推進を図り徐々に利用量が増加しており、また、大規模なほ場整備を実施中であり今後も増加が期待できる。
	指標 4	環境保全型農業の推進	300ha	H21	-	630ha	H29	442ha	△	現時点で目標には達していないが、現在も耕畜連携により推進しており、また大規模なほ場整備を実施中であり、今後作付面積の拡大が見込まれている。

③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度 (H)	最終実績	
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）	2.52km	-	0.62km	バイオマスリサイクルセンターへ通じる市道の完成により輸送の合理化が図れているが、一部市道の整備が遅れており目標に達していない。今後他事業により整備が完成する見込みである。
	広域農道整備事業（整備延長）	4.66km	-	4.66km	整備が完了しバイオマスリサイクルセンターへの輸送の合理化が図られるとともに、本地域で生産される農産物流通条件が整備された。また、集落間の移動時間短縮により生活環境の改善が図られた。
その他の事業	地域活力基盤創造交付金事業	広域農道が接続する国道432号0.7kmと、県道布部安来線1.2kmの整備を平成25年度までに実施			道路整備は計画通り完了した。
	経営体育成基盤整備事業	安来市北部の能義平野で266haのほ場整備を実施して、農作業の効率化を図る			平成32年度完成に向けて事業をすすめているところである。また、新たに192haのほ場整備をすすめている。
	経営体育成交付金	新規就農者の経営の早期安定及び集落営農の法人化をすすめるため農業用機械や施設等に助成を行う			農業用機械や施設整備に係る経費を助成し、新規就農者の農業経営の安定化と集落営農の法人化の推進を図っている
	農林水産振興がんばる地域応援総合事業	認定農業者へ農業機械や施設購入に係る費用の一部を助成し、農業経営の安定を図る			農業用機械や施設整備に係る経費を助成し、農業経営の安定化を図っている
	安来市新規就農研修事業	新規就農に必要な農業技術や農業経営の実践的な体験研修を行うと共に、研修中の研修生の負担軽減を目的に補助金を支給			研修制度を円滑に運用し、JIAターン者や農家子弟による担い手育成・確保を行っている
	バイオマスリサイクル利活用会議	家畜糞尿及び堆肥の利活用の推進を図るため、JAしまねやすぎ地区本部・畜産農家・営農組織の連携を強化する会議を運営する			毎月行われる安来市農林振興協議会畜産部会において協議している
	宇賀荘地区ふれあい祭り	地元自治会や有志により、毎年春と秋に開催している消費者との交流活動を引き続き実施する			毎年開催され、消費者との交流が図られている
計画外で独自に実施した事業					
④評価方法	「島根県安来市地域再生計画事後評価委員会」を開催し、最終目標の達成状況を評価した。				
⑤事後評価の公表方法	県のホームページに掲載し公表する				
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した市道整備と広域農道整備一体的に実施した。広域農道整備については平成27年度に全線開通した。市道整備については、バイオマス施設へ通じる路線は完成したが、黒鳥細井線、中島津田平線が未完成となっている。未完成の2路線については、現在、社会資本整備総合交付金事業により整備中であり、平成33年度の完成を予定している。拠点間の道路整備により運搬時間の短縮、移動時間の短縮が図られており、一定の効果が発現している。また、堆肥化の推進、環境保全型農業の推進や地域間交流の拡大に寄与していくものと考えている。				
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、市道2路線の整備が遅れているが、社会資本整備総合交付金事業により平成33年度完成を予定している。家畜糞尿の堆肥化推進、環境保全型農業の推進については目標数値に達していないが、広域農道とバイオマス施設へ通じる市道は完成しており、また、大規模なほ場整備を実施しており、今後JAや畜産農家、営農組織の連携を強化していくたい。				